

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立浦和第一女子高等学校	Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校として目指す方向が明確に示されている学校像である。生徒の実態や学校の現状に応じた適切なものであり、生徒や保護者の期待に応えるものとなっているが、簡潔に示せると更に良い。
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえ学校の取り組むべき方向が設定されている。学校の目標が明確に示されているが、鋭意取り組んでいるスーパーサイエンスハイスクール事業やスーパーグローバルハイスクール事業などを通して人間力を向上させることも目標の内容にできると更に良い。
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	分掌・学年等が連携しながら、目標達成を目指す体制となっている。評価項目が、年度達成目標としては抽象的で分かりにくい面があるので、明確かつ具体的な目標となるように工夫していただきたい。
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	重点目標達成のため、分掌・学年等のシートが作成されている。方策や評価指標がやや抽象的であるので、具体的な方策を策定するとともに、教職員間で目標の達成イメージが共有できるような分かりやすい指標を設定することが望まれる。
	校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状と課題を踏まえた学校経営の方針を持ち、取り組んでいる。教職員一人一人を的確に生かし、組織力を高めようとする校長の意欲も感じられた。更に共通理解を深め、目標の達成を目指すことが期待される。
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートや学校関係者評価などを基に、取組を検証するための情報収集に努めている。アンケート項目の工夫を進め、結果等を詳細に分析して新たな課題の析出や方策の見直しを検討するなど、次年度のより具体的な取組につなげ、スパイラルアップを図るようにしていただきたい。
特記事項		